

令和 8 年 7 月 2 1 日

報道関係者各位

山県市

こどもが主役の暮らし体験「保育園留学」2 年目開始

留学家族を市長がお出迎え

7 月 2 7 日 (月) 9 時 アンバイエ周辺の小川

山県市（市長 林 宏優 以下 当市）は、美山地域にある山県市立富波保育園（園長 恩田 重子 以下 富波保育園）にて、株式会社キッチンハイク（代表取締役 CEO 山本 雅也 以下 (株)キッチンハイク）に業務委託して、令和 7 年度から保育園留学事業を行っています。

この事業は、当市の少子化の影響を緩やかにする取り組みとして、都市部のこどもたちを受け入れて交流することで、当市のこどもたちには、多様性ある保育環境を提供し、都市部のこどもたちには、地域の自然や文化に触れ合う機会を提供します。また、関係人口の創出や二地域居住の推進、将来的な子育て世代の移住定住を促進し、地域活性化を図ることを目的として実施します。保育園留学中、こどもたちは富波保育園へ通い、家族は市内に宿泊し、リモートワークでの仕事をするなどして滞在し、当市の暮らしを中・長期的に体験します。このたび、当市初の 2 週間滞在するご家族の利用があるため、案内します。

留学（通園）初日となる 7 月 27 日は、留学を受け入れる富波保育園が、市内の自然に触れる体験をする「小川の生き物さがし」（別途プレスリリース済）の日であるため、生き物さがしの会場となるアンバイエ周辺の小川で、市長が家族を出迎えます。

名 称	保育園留学
場 所	アンバイエ周辺の小川（岐阜県山県市長滝 2 7 番地 4 4）
受入家族	東京都のご家族 利用する児童：年長児 1 人、年少児 1 人
主な出席者	市長、こども・健康課長、富波保育園長、ほか保育士、みやま保育園年長児（8 人）・富波保育園年長児（5 人）
日 時	滞在期間：令和 8 年 7 月 26 日（日）～8 月 8 日（土） 通園期間：7 月 27 日（月）～31 日（金）・8 月 3 日（月）～7 日（金）
留学中の園児の 主な過ごし方	【通常】 登園 8 時 30 分頃 午前・午後 あそび・活動 降園 16 時 30 分頃 （午前：園庭でプール遊び（近くの武儀川で遊ぶ日もあり） 午後：午睡） 【7 月 27 日（月）の予定】 9 時 小川の生き物さがし 午後 午睡・活動 降園

保育園留学とは？

「保育園留学」は、1 から 2 週間こどもが保育園にのびのび通えて、親は働きながら多様な地域に家族で滞在できる、こども主役の暮らし体験。こどもには、幼少期に大自然に触れて心身ともに健やかに育つ環境を。ご家族には、仕事も子育てもしながら多様な選択肢を。地域には、



家族ぐるみの超長期的関係人口の創出や地域経済への貢献をもたらします。試験的に実施した令和 7 年度は 6 件の利用がありました。R7 実績：8 月 東京都 2 件、1 月 長野県 1 件、2 月 東京都 2 件、3 月 愛知県 1 件 合計 6 件 R8 予約状況：7 月 兵庫県 1 件・大阪府 1 件・東京都 2 件、8 月 神奈川県 1 件、9 月 愛知県 1 件、10 月 兵庫県 1 件 合計 7 件（R8.7.16 現在）



山県市立富波保育園の魅力

市の約 8 割を森林が占め、美しい清流「円原の伏流水」が流れる岐阜県山県市。全園児 18 人、異年齢がまるで家族のように過ごす富波保育園が留学の舞台です。武儀川での川遊びや山道の散歩など、自然を生かした活動で毎日元気いっぱい。人との関わりを大切にしながら、思いやりと「自分の気持ちを伝える力」を育みます。

山県市役所 子育て支援の考え方

山県市では「子育て応援条例」を定め、全てのこどもが健やかに成長できる環境づくり、そして、安心してこどもを産み育てることができる環境づくりを推進し、様々な事業を展開して子育て世代を応援しています。「子育て」とは、こどもが本来持っている自ら育つ力を中心に考えること、こどもたちが主体的に（主役として）育ちの模索を行うことです。

山県市は、子育て支援の充実を進めるほか、新たに「子育て応援の目線」を加えた考え方で、子育て支援日本一を目指した取組を進めています。



保育園留学のサイト <https://hoikuen-ryugaku.com/>

※「保育園留学」は（株）キッチンハイクの商標です。

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ】

山県市こども・健康課 梅田

Tel : 0581-22-6839 Fax : 0581-22-2117

Mail : kodomo@city.gifu-yamagata.lg.jp